

- 11 村久保雅孝：ストーキング被害者への心理的援助と防犯上の対応。日本カウンセリング学会第35回大会。2002， 8， 3。日本カウンセリング学会第35回大会発表論文集 p.56 (事例研究)。
- 12 竹熊郁子，濱野香苗，井上悦子：学生のとらえる教師と自己の関係に関わる考察。日本看護学教育学会第12回学術集会。2002， 7， 30。日本看護学教育学会誌 127。
- 13 竹熊郁子，井上悦子，濱野香苗，武富弥栄子，尾崎岩太，佐野雅之：護学生の HIV/AIDS に対する意識と実際に関する調査。第16回日本エイズ学会学術集会・総会。2002， 11， 28。日本エイズ学会誌 4(4)：285。

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
助手	児玉 有子	平成14年度文部科学省科学研究費助成金	若手研究(B)	全身清拭における5つの方法による生体負担についての検討	1,100

臨床看護学講座

著書

- 1 服部佳代子：日本の福祉手当。谷口初美：一アメリカ最新出産事情とウイメンズヘルスーらくらくアメリカ出産ガイド。初版 CD-ROM。はる書房。東京 2002。
- 2 松岡 緑：健康と生き方を考える。教育と医学の会編。第4巻 成人・老人期 健康と生き方を考える。慶応義塾大学出版会。東京 2002。
- 3 松岡 緑：中高年者の身体的・精神的・社会的変化と特性。教育と医学の会編。第4巻 成人・老人期 健康と生き方を考える 12-24。慶応義塾大学出版会。東京 2002。
- 4 大田明英：成人 Still 病。本邦臨床統計集3。初版 341-345。日本臨床社。東京 2002。
- 5 大田明英：成人 Still 病。宮坂信之編：新しい診断と治療の ABC 8 免疫1 関節リウマチ。最新医学・別冊 101-108。最新医学社。大阪 2002。
- 6 大田明英：成人 Still 病。EBM のための内科疾患データファイル。内科別冊 1393-1395。南江堂。東京 2002。
- 7 大田明英：免疫とアレルギー。渡辺照男編：カラーで学べる病理学。初版 57-72。ヌーヴェルヒロカワ。東京 2002。
- 8 大田明英，山口雅也：成人 Still 病。島田 馨編：内科学書。改訂第6版 972-974。中山書店。東京 2002。
- 9 *鈴木憲明，大田明英：成人スチル病。リウマチ科診療マニュアル。リウマチ科27巻特別増刊号 654-660。科学評論社。東京 2002。

学術論文

- 1 藤田君支，松岡 緑：食事管理の自己効力感を維持している糖尿病患者の自己管理体験：日本糖尿病教育・看護学会誌 6(2)：123-130，2002。
- 2 井手紀子，田崎 考，丸田まゆみ：佐賀医大における学校保健養護教育の実際。九州小児看護教育研究会誌 2：28-31，2002。

- 3 * 鐘江 大, 多田芳史, 大田明英, 牛山 理, 鈴木憲明, 小荒田秀一, 春田善男, 吉開友則, 長澤浩平: 成人 Still 病患者のガリウムシンチグラフィにおける骨髄への集積. リウマチ 42: 872-878, 2002.
 - 4 * Kikuchi Y, Koarada S, Tada Y, Ushiyama O, Morito F, Suzuki N, Ohta A, Miyake K, Kimoto M, Horiuchi T, Nagasawa K: RP105-lacking B cells from lupus patients are responsible for the production of immunoglobulins and autoantibodies. Arthritis Rheum 46: 3259-3265, 2002.
 - 5 * 前田寿幸, 多田芳史, 鐘江 大, 牛山 理, 鈴木憲明, 大田明英, 長澤浩平: 膠原病患者における可溶性 CD31 の検討. 九州リウマチ 21: 67-70, 2002.
 - 6 * 増田安代, 森岡郁晴, 松岡 緑: 病院勤務看護職の精神的健康に影響を及ぼす要因—女性事務職員との比較—: 日本保健福祉学会誌 9(1), 2002.
 - 7 松岡 緑: 職能資格制度を基礎とする看護職の人事考課制度. 九州産業大学大学院経営学研究科「経営研究」 5: 119-137, 2002.
 - 8 * Mizoguchi M, Hirata N, Saito H: Development of an Attitude Scale toward Sex and Reproduction in Japan. The 26th Triennial Congress of the International Confederation of Midwives Proceedings. 324-326, 2002.
 - 9 篠崎克子, 延近久子: 経管栄養法と看護 エキスパートナース 18(3): 68-73, 2002.
 - 10 * 鈴木憲明, 大田明英: その他の血管炎—分類と診断を中心に. medicina 39: 1537-1539, 2002.
 - 11 °多田芳史, 尾上祐行, 小荒田秀一, 鐘江 大, 牛山 理, 鈴木憲明, 青木茂久, 長澤浩平, 大田明英: 両側の胸水貯留で発症した特発性線維性縦隔炎の 1 例. 日本臨免会誌 25: 177-183, 2002.
 - 12 * Taide M, Saito H: Contraception in Japan: A Review of the Medical and Allied Health Literature. Kawasaki Journal of Medical Welfare. 8(2): 57-71, 2002.
 - 13 田崎 考: 学校検診から小児保健へ—佐賀に帰って来てからの私の歩み. 佐賀県小児科医報 7: 19-20, 2002.
 - 14 安田加代子, 松岡 緑, 藤田君支: 糖尿病患者の QOL に影響を及ぼす要因に関する研究—食事療法に対するストレス認知と対処能力との関連. 日本糖尿病教育・看護学会誌 6(2): 95-103, 2002.
- 学会発表
- 1 有門美穂子, 田崎 考: 小児科外来における育児相談の試み. 第49回日本小児保健学会. 2002, 10, 10-12. 神戸.
 - 2 服部佳代子, 溝口明美, 大島玲子, 北原真理子, 内野秋子: 高校生を対象とした性教育の現状と問題点. 第16回日本助産学会. 2002, 3, 15. 日本助産学会誌 15(3): 218-219.
 - 3 * 藤森サエ子, 松岡 緑, 山川裕子: 糖尿病患者の飲酒に関する気持・思いおよび飲酒行動の検討. 第28回日本看護研究学会. 2002, 8, 9. 日本看護研究学会雑誌25巻3号: 213.
 - 4 藤田君支, 松岡 緑, 山川裕子: 両側人工股関節全置換術を受けた変形性股関節症患者の生活体験の変化. 第22回日本看護科学学会. 2002, 12, 7. 日本看護科学学会学術集会講演集: 254.
 - 5 藤田君支, 松岡 緑, 山川裕子, 山崎初美, 黒田富士子: 変形性股関節症で人工股関節全置換術を受けた患者の回復体験—退院後1ヶ月, 6ヶ月, 1年, 2年の患者の認識の比較—. 第33回日本看護学会抄録集 成人看護II, 237, 2002.
 - 6 石山さゆり, 斉藤ひさ子: 月経周期に伴う身体症状と気分の変化. 第43回日本母性衛生学会. 2002, 9, 6. 母性衛生 43(3): 126.

- 7 古賀明美, 松岡 緑, 藤田君支: 糖尿病患者の受診行動に関連した療養生活の体験及び認識—受診中断の体験者を中心にした分析—. 第7回日本糖尿病教育・看護学会. 2002, 10, 5. 日本糖尿病教育・看護学会誌 6 (特別号): 77.
- 8 *黒木智子, 松岡 緑, 藤田君支: 成人糖尿病患者の家族の情緒的ストレスに影響を及ぼす要因. 第7回日本糖尿病教育・看護学会. 2002, 10, 6. 日本糖尿病教育・看護学会誌 6 (特別号): 142.
- 9 丸田まゆみ, 田崎 考, 井手紀子, 葛見保子, 志田正典: 中学生の生活習慣が検診結果に及ぼす影響と保健指導. 第49回日本小児保健学会. 2002, 10, 10-12. 神戸.
- 10 *溝口全子, 平田伸子, 斉藤ひさ子: 性および生殖に対する態度尺度の開発に関する研究(1)—構成要因の検討. 第16回日本助産学会. 2002, 3, 15. 日本助産学会誌 15(3): 242-243.
- 11 * Mizoguchi M, Hirata N, Saito H: Development of an Attitude Scale toward Sex and Reproduction in Japan. The 26th Triennial Congress of the International Confederation of Midwives. 2002, April, 14-18. Abstract: 29.
- 12 *中嶋カツエ, 斉藤ひさ子, 石山さゆり, 服部佳代子, 谷口初美: 産褥早期の母親の気分状態とその変化. 第31回日本女性心身医学会. 2002, 7, 7. 女性心身医学 7(1): 37.
- 13 *中嶋カツエ, 斉藤ひさ子, 谷口初美, 石山さゆり, 服部佳代子: 産褥早期の母親の新生児への愛着と関連要因. 第43回日本母性衛生学会. 2002, 9, 6. 母性衛生 43(3): 294.
- 14 大田明英, 春田善男, 小荒田秀一, 牛山 理, 多田芳史, 長澤浩平: 全身型 JRA と成人スチル病は同一疾患か. 第46回日本リウマチ学会総会 (シンポジウム). 2002, 4, 22. リウマチ 42: 229.
- 15 °高崎光浩, 服部佳代子, 北原真里子, 溝口明美, 大島玲子, 浦山 緑, 内野秋子, 和田米敏, 井原貴子: 助産・看護専門家による子育て支援インターネットサイトの構築と運用効果—子育てふれあいネットワーク「未楽来 (みらくる)」—. 日本医療情報学会第3回看護情報研究会. 2002, 6, 29. 日本医療情報学会誌 3: 1-4.
- 16 谷口初美, 服部佳代子: 妊産褥婦のメンタルヘルス教育ソフト (CAI教材) 開発とその教育効果. 第16回日本助産学会. 2002, 3, 15. 日本助産学会誌 15(3): 140-141.
- 17 田崎 考, 田代克弥, 西村真二, 渡辺まみ江, 岸本小百合, 横田吾郎, 濱崎雄平: 小1心検で見つかった拡張型心筋症9年間における生活管理指導の問題. 第38回日本小児循環器学会. 2002, 7, 10-12. 東京.
- 18 内村智美, 松岡 緑, 藤田君支, 古賀明美, 安田加代子, 野中千普美: 臨地実習事例発表会における学生の学習活用状況. 第28回日本看護研究学会. 2002, 8, 8. 日本看護研究学会雑誌 25巻3号: 198.
- 19 内村智美, 松岡 緑, 藤田君支, 古賀明美, 安田加代子, 藤満幸子, 石橋香津代: 糖尿病患者教育における患者のニーズと看護師の教育実践の相違. 第7回日本糖尿病教育・看護学会. 2002, 10, 6. 日本糖尿病教育・看護学会誌 6 (特別号): 126.
- 20 安田加代子, 松岡 緑, 藤田君支, 古賀明美, 内村智美: 糖尿病の自己管理と社会生活の調整に伴う困難な気持ちとその対処—肯定的な気持ちへと変化した対処を中心に—. 第7回日本糖尿病教育・看護学会. 2002, 10, 6. 日本糖尿病教育・看護学会誌 6 (特別号): 88.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	松岡 緑	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(2)	糖尿病における患者教育プロセスを重視した教育方法の開発に向けた基礎的研究	500
教授	斉藤ひさ子	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(2)	閉経に伴う性行動の変化と心理社会的変数の関連性の検討	1,100
講師	藤田 君支	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	人工股関節置換術を受けた患者の日常生活の実態と退院指導に関する質的研究	600
講師	山川 裕子	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(2)	抑うつ状態で精神科に入院した患者の回復過程における認識	700
助手	古賀 明美	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(2)	糖尿病患者における受診中断後の療養生活の実態とその変化に関する質的研究	1,300
助手	野中千普美	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	救急外来受診患者の家族の不安の影響要因に関する研究	1,000

地域保健・老人看護学講座

著書

- 1 忽那龍雄：運動器系。カラーで学べる病理学。編集渡部照男。廣川書店。東京 2002。
- 2 小野ミツ、吉岡幸子、高崎絹子：ドイツにおける高齢者虐待の予防と支援。東京医科歯科大学大学院大学保健衛生学研究科。東京 2002。

学術論文

- 1 橋本 明, 佐藤 元, 西林保朗, 椎野泰明, 忽那龍雄他 8 名：RA 患者の QOL：AIMS2日本語版調査を用いた多施設共同調査成績 - II。医療費および関連する諸因子の解析-。リウマチ 42：23-39, 2002。
- 2 藤野成美：慢性関節リウマチ患者における精神的側面と看護職者の役割。佐賀医科大学大学院医学系研究科平成13年度修士論文 1-34, 2002。
- 3 木村裕美, 中村愛子, 忽那龍雄：介護老人保健施設入所者の在宅看護の潜在的問題点。保健の科学 44(12)：941-947, 2002。
- 4 小野ミツ, 高崎絹子：ドイツの介護保険制度と高齢者虐待・身体拘束。日本在宅ケア学会誌 6(1)：24-31, 2002。
- 5 大富千壽子：在宅高齢療養者に対する主介護者の介護負担感に影響を及ぼす因子について。佐賀医科大学大学院医学系研究科平成13年度修士論文 1-29, 2002。
- 6 松永秀俊：脳卒中片麻痺患者の退院時の身体機能レベルと社会復帰との関連性。佐賀医科大学大学院異学系研究科平成13年度修士論文 1-21, 2002。